

## インクリボンの交換

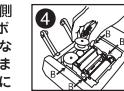
① 電源を OFF にします。次に、プリンタカバーの突起を持ち上げて、プリンタカバーを取り外します（図 1、2）。



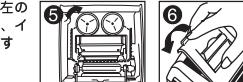
② リボンロック（A）をつまみながら、左右のリボンを軸から取り外します（図 3）。



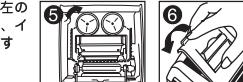
③ 新しいインクリボンの黒い方を上にして、まず左側の軸にインクリボンを差し込みます。インクリボンを活字ローラーとペーパーローラーの間を通して、リボンガイド（B：左右凹部 4 点）にかけます。その後、もう一方のインクリボンを右側の軸に差し込みます。この時、インクリボンがリボンガイドに沿っているかを確認してください（図 4）。



④ インクリボンをはめ終えた後、左のインクリボンを時計方向に回し、インクリボンのたるみをなくします（図 5）。



⑤ プリンタカバーを取り付けます（図 6）。



## ■インクリボンについて

インクリボンは、次の規格のものをお求めください。規格外のものをご使用になると、リボンが破損したり、印字が不鮮明になることがあります。

<規格> 形式：キヤノンインクリボン EP102/M310型

幅：13 mm

長さ：6 m

鮮明に印字するためには、インクリボンをロールペーパー 5～7巻使用後、もしくは 6ヶ月ごとに交換してください。

## スイッチの説明

## 電源 ON/OFF、プリントスイッチ

電源 OFF：電源を切る場合は、スイッチを「OFF」に戻します。  
 電源 ON：電源を入れて、印字をせずに計算を行う場合はこの位置に設定します。

プリント：印字しながら計算を行う場合は、この位置に設定します。

小数点桁指定スイッチ

演算結果の小数点以下の桁数を指定するスイッチです。指定位置は、6、4、3、2、0、F(桁指定なし)及び+(アド・モード)があります。

+(アド・モード)：加減算の桁数の小数点位置を自動的に小数点以下2桁に設定します。□キーを押す必要がなく、ドル計算などに便利です。

F(桁指定なし)：小数点の桁数を指定せず、上位 12 術(MP1411-LTS は 14 術)以内の答えをそのまま印字・表示します。

四捨五入切り替えスイッチ

演算結果を求める時に指定した小数点の次の桁を四捨五入する場合は、「5／4」に、指定した小数点の次の桁を切り捨てる場合は「↓」に、切り上げる場合は「↑」に設定してください。

GT / 税率設定スイッチ

GT (グランドトータル) OFF ON 税率設定  
今までの計算結果の累積（グラントトータル）を求める時に使用します。GT スイッチが「ON」の状態で□キーを1回押すと、グラントトータルメモリの内容が呼び出され、2回続けて押した場合は、グラントトータルメモリの内容がクリアされます。（計算例「グラントトータル計算」参照）

税率設定  
スイッチを「税率設定」に設定すれば、税率設定、税率の呼び出しを行なうことができます。

アイテムカウントスイッチ

1度に多くのデータを計算するとき、その入力データ数を確認することができます。アイテムカウント機能は、データを入力するごとにその入力データ数を自動的に集計するので、整理伝票の集計や、取り扱い商品の集計などに便利です。

アイテムカウント機能を使用しない場合は、「OFF」に設定します。

プラスのデータ、マイナスのデータに関係なく、加減算で入力したすべてのアイテム数（+キー、-キーを押した数）を自動的に集計する場合は「n+」に設定します。

加減算で入力したプラスのデータのアイテム数（+キーを押した数）だけを集計するときには「OFF」に設定します。この位置に設定すると、誤った数値を入力しても簡単に訂正することができます。誤入力した後すぐ□キーを押すことで、誤入力した数値がクリアされ、アイテム数も元に戻ります。

\*メモリ計算でも上記と同様の方法でアイテムカウントスイッチを使用できます。  
\*アイテム数は集計結果を求めるときに印字されます。

\*アイテム数はロールペーパーの左端に最大3桁（999）まで印字することができます。

## ロールペーパーの取り付け

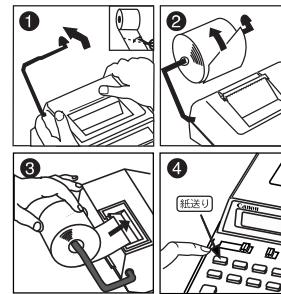
① アームを外側に立てます。

② ロールペーパーを矢印の向きにアームに取り付けます。

◆ 使用ロールペーパー：キヤノン JP-57（幅 57～58mm 巻径 86mm 以下）

③ ロールペーパーの先端をペーパー挿入口へ入れ、先端が突き当たるまでしっかりと差し込みます。

④ 電源を入れ、 キーを押し、プリンタカバーからロールペーパーを送り出します。



## キーの説明

紙送りキー：ロールペーパーを連続的に送ります。

シフトキー：表示された数値を 1 衝ずつ矢印の方向にずらし、最下位の桁をクリアするキーです。入力中は□キーの後に続けて入力できるので、誤って入力したときには 1 衝ずつ訂正することができます。

C/E キー：入力した数値を訂正するキーです。誤って数値を入力した直後にこのキーを押すと表示がクリアされるので、正しい数値を入力し直すことができます。2回続けて押すと、計算途中の内容を全てクリアできます（メモリ計算の内容はクリアされません）。

ノン・アドキー：計算に直接関係のない数字（日付や整理番号など）を計算の途中に入れるときに使用します。

サブ・トータルキー：連続計算の中間計を求めるときに使用します。

トータルキー：加減算の演算結果を求める時に使用します。

イコールキー：乗除算の演算結果を求める時に使用します。

おつりキー：購入額に対して支払いを行った際の、お釣りの額が計算できます。

## メモリキー

M+ メモリプラス／イコールキー：数値または演算結果をメモリに加算するときに使用します。

M- メモリマイナス／イコールキー：数値または演算結果をメモリから引くときに使用します。

M× メモリ計算の小計を呼び出すときに使用します（メモリ内容は消去されません）。

M\* メモリ計算の合計を呼び出して同時にメモリ内容をクリアします。

## 税計算キー

税込キー：税込額・税額を計算する場合に使用します。

税抜キー：税抜額・税額を計算する場合に使用します。

\*税率はコンセントを抜いた場合はクリアされます。この場合は、再度税率を設定してください。

## 商売計算キー

原価 原価・売価・粗利率のいづれか2つの数値を入力すれば、残りの1つが簡単に計算できます。

電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントに溜まったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長時間差したものにする」と、その周辺に溜まったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。

## ご使用前に

- ① 本体をコンセントに近い位置に置き、ACコードをコンセントに差し込みます。
- ② スイッチを入れ、ON の状態にします。（ ）その後、「0」が自動的に表示されます。
- ◆ 主電源を OFF にするには、スイッチを OFF にした状態で ACコードをコンセントから抜いてください。

## 保証内容

1. 使用説明書に従った正常な使用状態で故障した場合、保証期間中は修理または機械交換を無料で行います。
2. 保証期間はお買上げ後の本体のみ 1 年間といたします。
3. 保証期間内でも次のような場合は有料となります。
- イ) 取扱い上の不注意、誤用による故障・損傷。
- ロ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
- ハ) 不適切な移動・落下などによる故障・損傷。
- 二)弊社指定の販売店・サービス店以外で修理・改造が行われた場合の故障・損傷。
- ホ) 本保証書をお買上げ店・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句が書き替えられた場合。
- ヘ) 本保証書の提示がない場合。
4. 製品には必ず本保証書を添えて、お買上げ店または弊社サービスセンターまでご持参またはご郵送ください。なお、その場合の交通費・郵送料・その他諸掛りはお客様のご負担となります。
5. 保証期間経過後は規定の修理・交換料金を申し受けます。
6. 本製品の故障または他の使用によって生じた直接、間接の損害については、当社はその責任を負わないものとします。
7. ご転居・ご贈答品等でお買上げ店で修理を受けられない場合は、弊社サービスセンターにてご相談ください。
8. 本保証書は日本国内でのみ有効です。
9. この保証書は本書に明示した保証条件のもとで無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によつてお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は弊社サービスセンターにお問合わせください。
10. 修理内容の記録は修理伝票に記入していただけます。
11. 保証書は再発行はできませんので、保管にご留意ください。
- 交換サービスの概要
- お客様に迅速かつ確実なサービスをお届けするために、同一機種または弊社規定に従い同等程度の仕様製品との機械交換方式を採用しております。
- なお、故障状況により部品交換修理方式を探用させていただく場合がございます。
- 製品をご郵送くださる場合
1. 保証書にご愛用者名、ご住所、電話番号を必ずご記入の上、故障内容を記したメモ等と一緒に製品と同封してください。
2. 保証書の保証期間及び、販売店名をご確認ください。無記入の場合は保証期間内でも有料になる場合がありますので、ご注意ください。
3. 製品は緩衝材に包んでポール箱かメールパック（郵送用の袋）に入れ、郵送中の破損、損傷を防ぐようにご配慮ください。

